

福岡食育健康都市づくり地域協議会 設立趣意書

福岡県が立地する九州の農業産出額は全国の約 2 割を占めており、それら農産物を活用した食産業について見ると、九州全体での食品製造業出荷額は平成 24 年に 4 兆 3263 億円と、昭和 60 年の 1.5 倍に達しており、農産物の活用による食産業の付加価値が九州経済を牽引する重要な産業であるといえる。また、1 次産業を含む食産業の従業者数は 100 万人と九州の全従業者の 1/6 を占めており、自動車産業と並ぶ重要産業である。

一方、健康という観点から福岡県に焦点を当ててみると、福岡県は男性の約 3 割がメタボリックシンドロームを抱えており、メタボリックシンドロームに起因する生活習慣病罹患者が多いという地域課題を抱えている。こうした現状にあって、医療費の増大や生活習慣病罹患による QOL の低下を如何に防いでいくかは喫緊の課題ともなっている。

福岡県は、食生活において依然として見られる野菜等の摂取不足、生活習慣病の罹患率、農林水産業における担い手の減少や高齢化による農山漁村の活力の低下といった課題を踏まえ、平成 25 年に「福岡県食育・地産地消推進計画」を策定し、食育・地産地消の取組の重要性を謳っている。

そこで、こうした計画の趣旨に則り、一次産業と二次、三次産業が手を携え、九州福岡県の恵まれた気候風土と農業者の創意工夫によって生産された農産物の機能性等を活用し、栄養科学的な観点を踏まえた食育による健康都市づくりを推進する事を目的に、新たに「福岡食育健康都市づくり地域協議会」を創設するものである。

平成 28 年 2 月 25 日